

千葉県のご供給・献血状況

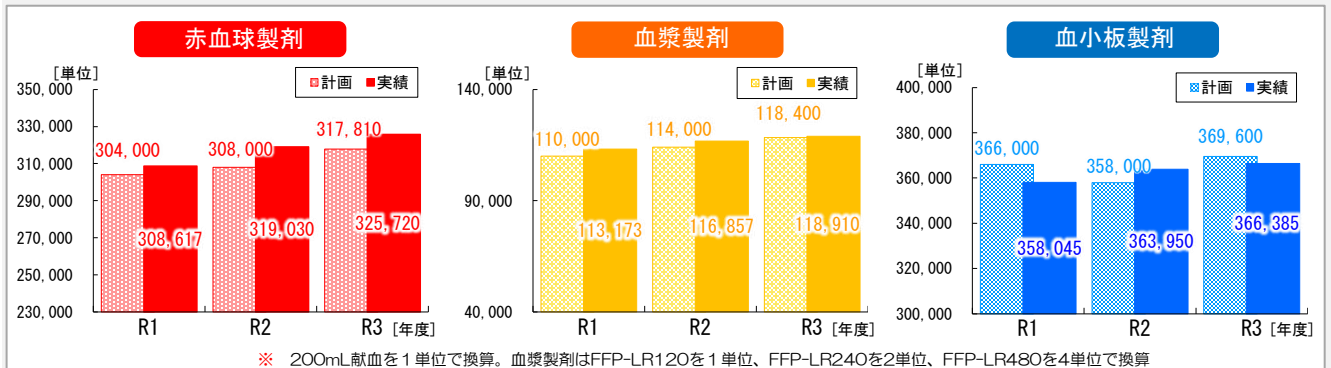
令和3年度の概要

千葉県では、平成29年度まで輸血用血液製剤の需要が高い状況が続いておりましたが、令和3年度は令和2年度に続き増加傾向が落ち着き、延べ**811,015単位**（対前年度比101.4%）を県内医療機関にお届けしました。

この需要に対応するため、県内6カ所の献血ルームと10台の献血バスで延べ**230,492名**（同101.7%）の皆さまに献血のご協力を頂きました。医療機関からの需要が高い400mL献血や成分献血を中心としたご協力と、献血ルームにおける予約献血の定着がより一層の安定供給につながりました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により主に移動採血バス会場で献血の中止や延期が発生しましたが、他県との調整、報道やSNSによる献血呼び掛け、メールなどの献血要請により多くのご協力を頂き、医療機関に遅滞なく血液をお届けすることができました。

年齢別の献血状況は20代～40代の各年代で減少しており、安全な血液製剤を安定的に医療機関へお届けするため、これからの献血を支える若年層の方々をはじめ、より多くの皆さまのご協力が必要とされています。

輸血用血液製剤供給状況（過去3年間の状況）



令和3年度の輸血用血液製剤需要は、令和2年度と同程度の状況となりました。

献血状況と供給状況

献血状況 [人]				供給状況 [単位]			
区分	令和3年度目標数	実績数 (対計画比[%])	対前年度実績増減数	区分	令和3年度計画数	実績数 (対計画比[%])	対前年度実績増減数
400mL献血	150,046	150,863 (100.5%)	92	赤血球製剤 (400mL献血由来)	312,312	320,952 (102.8%)	7,122
200mL献血	4,580	5,693 (124.3%)	▲39	赤血球製剤 (200mL献血由来)	5,498	4,768 (86.7%)	▲432
血漿成分献血	50,766	50,686 (99.8%)	901	血漿製剤	118,400	118,910 (100.4%)	2,053
血小板成分献血	23,047	23,250 (100.9%)	2,859	血小板製剤	369,600	366,385 (99.1%)	2,435
合計	228,439	230,492 (100.9%)	3,813	合計	805,810	811,015 (100.6%)	11,178

医療機関需要の高い400mL献血および血小板成分献血とともに、近年、需要が急増している血漿分画製剤用の血漿成分献血にも多くのご協力を頂きました。

県内医療機関の需要に見合うご協力を頂きました。なお、成分献血（平日）の予約によるご協力が供給の安定化に大きな力となりました。

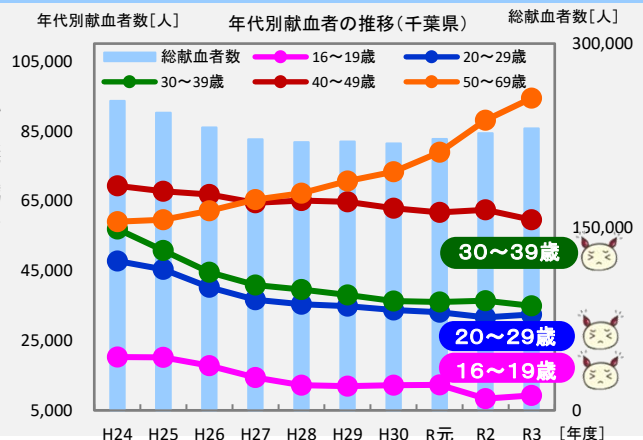
年代別献血状況

千葉県では、若年層（10代～30代）の献血者数が10年前に比べて38.7%減少しました。今後の献血基盤となる若年層にご協力をお願いするため、大学・専門学校・高等学校等における献血実施、献血セミナーの開催、千葉県学生献血推進協議会メンバーによる同世代への献血啓発、献血ルームにおける職場体験やキャンペーンなどを通じて、献血の普及啓発を行って参ります。

若年層（10代～30代）の献血者数

平成24年度 124,917人 → 令和3年度 76,549人

10年で約38.7%減少



令和4年度供給計画・献血目標

千葉県のと令和4年度の供給計画数は、近年の県内医療機関の輸血用血液製剤の需要動向、輸血用血液製剤の供給予測数及び血漿分画製剤の製造に必要な原料血漿の当血液センター確保制当量を基本として策定しました。

献血目標数は医療機関からの需要の高い400mL献血、高単位血小板成分献血(分割血小板)および分画製剤製造用血漿成分献血に重点を置いており、供給計画数 824,000 単位、献血目標数 232,014人と決定しました。

令和4年度供給計画				令和4年度献血目標					
区分	令和4年度計画数	令和3年度計画数	増減	増減比(%)	区分	令和4年度目標数	令和3年度目標数	増減	増減比(%)
全血製剤	0	0	0	—	400mL献血	150,913	150,046	867	100.6%
赤血球製剤	326,000	310,000	16,000	105.2%	200mL献血	3,947	4,580	▲633	86.2%
血漿製剤	122,000	117,700	4,300	103.7%	血漿成分献血	52,611	50,766	1,845	103.6%
血小板製剤	376,000	368,000	8,000	102.2%	血小板成分献血	24,543	23,047	1,496	106.5%
合計	824,000	795,700	28,300	103.6%	合計	232,014	228,439	3,575	101.6%

令和4年度供給計画値は、医療機関需要動向から概ね令和3年度計画値と同程度となりました。

近年、血漿分画製剤の需要が高まっていることから、昨年度に引き続き、血漿成分献血目標数が増加しています。

献血の輪が広がりますように

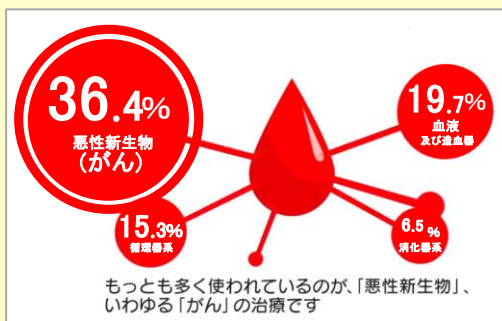
輸血用血液の多くは「がん」や「白血病」等の病気の患者さんの治療に使用されています。患者さんが安心して輸血医療を受けられるよう、より多くの皆さまのご協力をお願いいたします。

Q. いつも献血のお願いをしているのは、なぜ？

A. 病気の治療では、1度で数人分の血液を使用したり、定期的な輸血が行われることから、1人の患者さんを何人も献血者で支えています。一方、安全面を考慮し1人の方から短期間に何度も献血にご協力いただくことはできません。また、輸血用血液には有効期間(※)があり、長期保存が出来ないことから、継続的なご協力をお願いしています。

※ 輸血用血液製剤有効期間

【赤血球製剤】 採血後21日間 【血小板製剤】 採血後4日間



出典：東京都福祉保健局（令和元年）調べ

輸血治療を経験された方から寄せられたメッセージをご紹介します

ありがとうの声 (LOVE in Letter) ①

白血病の抗癌剤治療と骨髄移植後に輸血を受けました。全部で十数回だと思います。輸血を受けるたびに、提供して下さった方々に感謝の思いでいっぱいでした。輸血後、血球が上昇し、危機を乗り越えられ、“ほっ”と安心できました。私は若い頃しか献血しておらず、もっと人様のためになる献血をしてあげ良かったと反省しました。献血して下さった皆様、本当にありがとうございます。私のように、命を助けていただいた人がたくさんいます！

ありがとうの声 (LOVE in Letter) ②

娘が2歳2ヶ月の時に白血病になりました。約一年におよぶ入院生活の中で何度も輸血をして頂きました。輸血をして頂くとだんだんと顔色が良くなりお友達とも元気に遊ぶことができました。お顔の見えない献血をして頂いた方々に心の底から感謝しております。今、娘が元気に過ごしていられるのは皆様のおかげです。ありがとうございました。

献血ルームのご案内

<p>柏 献血ルーム (柏駅東口榎本ビル5階) Tel 04-7167-8050</p>	<p>松戸献血ルーム Pure (松戸駅西口松戸ビル1階) Tel 047-703-1006</p>	<p>献血ルーム フェイス (船橋駅南口フェイスビル7階) Tel 047-460-0521</p>	<p>津田沼献血ルーム (津田沼/バルコB館6階) Tel 047-493-0322</p>	<p>モノレールちば駅献血ルーム (モノレール千葉駅構内) Tel 043-224-0332</p>	<p>運転免許センター献血ルーム (千葉運転免許センター内) Tel 043-276-3641</p>
---	---	---	---	---	--

献血ルーム 受付時間
●成分受付▶ 10:00~12:00/14:00~17:00
●400mL(200mL)受付▶ 10:00~13:00/14:00~17:30
●定休日▶ 年末年始

運転免許センター 献血ルーム 受付時間
●400mL(200mL)受付▶ 9:00~13:00/14:00~16:30(日曜日は1時10分迄です。)
●定休日▶ 土曜日・祝日・年末年始
※運転免許センター献血ルーム(千葉市)では成分献血の受入は行っていません。